

公益財団法人日仏会館 事業計画
2023年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

日仏会館は2024年3月7日に創立百周年を迎えることになる。これを記念して、2023年4月から2ヶ年に渡り、百周年記念事業を実施する。『日仏文化』の百周年記念号を発行する他、イベントとしては、日仏会館の創立者の一人である渋沢栄一を扱った大型の日仏シンポジウム「渋沢栄一とフランス」をはじめ、日仏美術交流や両大戦間期のフランスに関するシンポジウム等、百周年を飾るに相応しい魅力的なイベントのラインナップを計画している。また、10年前の90周年記念以降の社会の大きな変化として、デジタル関連の進歩が目覚ましいが、日仏会館もこの時流を好機と捉え、日仏会館が企画する各イベントを文化的な資産と考え、これをデジタル・アーカイブ化し、直接イベントに参加できなかった方々を含め、日仏の文化に興味を持つ多くの方々に利用して頂くような新たな仕組みを模索している。このアーカイブ化と連携する形で、ウェブサイトの刷新を予定している。その実現に当たっては、百周年を記念した寄附を募り、多くの賛同・協力を得たいと考えている。そのためにも、上記記念イベントを中心として、広く一般に開かれた魅力的なイベントを企画していきたい。また、2023年は日仏会館が日仏文化交流の中心機関に指定された1953年の日仏文化協定からも70周年の記念の年に当たり、その意味でも重要な一年となる。2024年の年明けには百周年の記念式典も予定しており、日仏会館に賛同して下さる方々と共に記念日を祝いたい。

日仏会館の財政基盤は、会費収入を始め、有価証券の運用や、不動産の賃貸収入に負っているが、コロナ禍によるホール・会議室等のレンタル休止による減収の影響や、比重の大きい有価証券の利金収入が、金利や為替の影響を受けやすく不安定な状況である。そのため、安定的な収益確保が一層重要となる。テナントは全て埋まり収益改善の寄与となっているが、今後はコロナ禍の状況を注視しつつ、ホール・会議室等のレンタルの漸次再開を考えている。また、今後も建物の有効活用は検討を続けたい。

以下、2023年度事業計画について重点項目を説明し、次いで具体的事業内容につき述べることとする。

－重点項目－

1. 会館事業の充実

コロナ禍のもとでは、オンライン・イベントを中心にイベントを開催してきたが、2022年度からは、コロナの状況を見ながら対面開催のイベントも順次再開してきた。今後もイベント毎に相応しい開催方法を模索すると共に、より広い年齢層の興味を引くイベントを検討して行きたい。

2. 日仏の関連諸団体との共同・支援事業

コロナ禍以降、毎年恒例の地方日仏協会との交流旅行や、新年会等のイベントは中止とせざるを得なかった。2023年度もまた、コロナ禍次第ということにはなるが、関係諸団体との連携強化は重要であるため、オンラインで出来ることも含めて模索しつつ、徐々に活動の幅を取り戻して行きたいと考えている。

3. 広報の充実

上記デジタル・アーカイブスを念頭に、ウェブサイトの刷新を準備している。定期刊行物の『日仏文化』については、更に進んだ電子化の方法を検討し、研究者を含む多くの方々の利便性を上げたいと考えている。会報「ヌーヴェル」、メールニュースの充実を図ると共に、SNSを活用した広報ネットワークの拡充に取り組んでいる。

4. 事務局体制の強化

事務局スタッフは、欠員となっていた総務担当職員を昨年末に補充することができた。徐々に欠員前の状況を取り戻していくことを目指す一方、引き続き各職員のスキル向上等を図る予定である。

5. 個人・法人賛助会員増加策の検討

財政的基盤の強化には、個人・法人賛助会員の増強並びに寄附金の増強が不可欠である。個人・法人賛助会員ともに漸減傾向が続いており、これに歯止めを掛けるべく、賛助会員優先の特別講演会や、会員に魅力のあるイベント・セミナーの開催、また新規会員・賛助会員獲得の為の勧誘活動を進める。また、創立百周年の寄附金募集を計画している。

— 具体的事業内容 —

1. 公益事業 1：日仏両国の文化・学術研究に関する交流促進及び講演会・シンポジウム・出版物等を通じた研究成果の普及事業
 - (1) シンポジウム・文化講座・科学講座
 - ① 日仏シンポジウム
 - 「日仏芸術交流の100年—建築、音楽、庭園、写真・映像」
 - 秋開催
 - 東京文化会館小ホールで2024年1-2月に関連コンサート開催
 - * 創立百周年記念事業

 - 「渋沢栄一とフランス」
 - 2024年3月頃、2日間の開催。
 - * 創立百周年記念事業

 - (協力)「新自由主義時代における責任（政治学・社会学・法学）」
 - 2024年春
 - 日仏会館・フランス国立日本研究所主催
 - * 創立百周年記念事業
 - ② 日仏文化講座
 - ・「ボアソナードと日本法、そして比較法の現状と将来」
 - 7月1日（土）開催
 - 講師：池田眞朗（慶應義塾大名誉教授、武蔵野大学）、大村敦志（東京大学名誉教授、日仏法学会理事長、学習院大学）、Béatrice Jaluzot（Institut d'Asie Orientale, Sciences-po Lyon）、山元一（慶應義塾大学）、松本英実（青山学院大学教授）、Isabelle Giraudou（東京大学）日本語による講演
 - * 創立百周年記念事業
 - ③ 日仏科学講座
 - 「生物学における日仏交流100年の今日」
 - 開催日未定
 - 第一部 司会：浜崎浩子（北里大学）
 - 講師：高橋淑子（京都大学院、尾藤晴彦（東京大学院医学研究科）
 - 第二部 司会：坂内博子（早稲田大学・先進理工）
 - 講師：有菌美沙（京都大学院医学研究科）、隈元拓馬（都立医学総研）、松尾龍人（量子科学技術研究開発機構）
- (2) 日仏文化講演シリーズ（月例講演会）
 - 日仏文化に関連する多分野のテーマで年間13回程度開催。
 - ・ヤエル・ナゼ氏講演会（4月24日（月））
 - 協力 みすず書房
 - ・「渋沢栄一と日仏会館」（5月29日（月）または25日（木））
 - 三浦信孝（日仏会館顧問、中央大学名誉教授）
 - * 創立百周年記念事業
 - ・「フランスとシリア・レバノン—幾重にもアンビバレントな関係」（6月23日（金））
 - 黒木英充（東京外国語大学教授、北海道大学教授・併任）
 - ・「日本とフランス相愛の秘密」（秋）
 - 竹下節子（比較文化史家、バロック音楽演奏者）
 - ・おしゃべりナイト「香り文化—食す・纏う（装う）・漂わせる」（開催時期未定）
 - 原美智子（長谷川香料（株）総合研究所 フレグランス研究所部長）
 - ・佐藤大輔（Gonbei Europe（おむすび権兵衛パリ店）代表）講演会（開催時期は講師の帰国時期に合わせる。（2023年度または2024年度）
 - ビジネス講座での開催も検討

(3) 音楽会・レクチャーコンサート

- ①フランス音楽のタベ *共同主催：日仏音楽協会
「20世紀フランス音楽の巨匠たち〜ドビュッシー、そしてメシアンとデュティユー」(仮)
(2023年9月〜12月) 金子鈴太郎(チェロ)、長尾洋史(ピアノ)
- ②フランス音楽のタベ *共同主催：日仏音楽協会
日仏会館百周年記念シンポジウムに関連したコンサート(2024年1月〜2月東京文化会館小ホール予定)
- ②レクチャーコンサート
「クラヴサンを愛した大クーブラン」(6月7日(水))
桑形亜樹子(クラヴサン、東京藝術大学講師)
- ③映像と講演 *共同主催：TMF日仏メディア交流協会
映画上映・講演会を年3回開催。

(4) 教養講座等

- ①日仏会館教養講座
連続4回の教養講座を年1回開催。
- ②食文化講座「学んで食べる文化講座―食文化版ツール・ド・フランス」
フランス各地方の食文化や背景を学びつつ、その地の名物料理を堪能することを目的にした講座を年2回開催。
飲食が可能になった段階で再開。
- ③ビジネス講座
・若手ビジネスパーソン交流会「2020年第5回ジャパン SDGs アワード受賞佐藤弘一氏が語るビジネスにおけるネットワーク、交流術に求められるもの」

(5) ギャラリー展示

予定なし

(6) 出版・広報・ウェブサイト関連

- ①『日仏文化』：第93号発行。電子化の検討。
- ② ニュースレター「NOUVELLES」：年3回発行。
- ③ イベント告知冊子「Prochainement」：年5回発行。
- ④ ウェブサイトの運営
- ⑤ メールニュースの発行
- ⑥ SNS (Twitter)、日仏会館 Youtube チャンネル、日仏会館 Peatix サイトの運営

2. 公益事業2：日仏両国の文化・学術研究に関する作品の公募、表彰及びフランス語コンクールを通じた、文化・学術の振興を目的とする事業

- (1) 渋沢・クローデル賞(第40回) *共同主催：読売新聞社(日本側)、EHESS・日仏財団(仏側)
日仏両国においてそれぞれ相手国の文化に対する研究成果を示す優れた著作や翻訳書を選んで授賞(日本側は本賞・奨励賞の2種類)する。

(2) フランス語コンクール(第14回)

フランス語スピーチコンテスト。11月に決勝大会ならびに授賞式。

3. 公益事業3：日仏両国の文化・学術研究、教育に従事する団体等との共同事業及び同団体への研究推進を支援する事業

- (1) 日仏春秋講座 *共同主催：日仏会館・フランス国立日本研究所

(7月25日(火)または28日(金))

講師 クリストフ・ジャフルロ (Sciences Po / CNRS)、大庭 三枝 (神奈川大学)

司会 兼原信克 (同志社大学、元外務省)

* 創立百周年記念事業

(2) 日仏学術研究助成

①学術研究助成 2件

- ・日仏生物学会「アミロイド病関連タンパク質が示す原子レベルの挙動に関する日仏共同研究」
- ・日本フランス語フランス文学会「レトリックとテロル：ジロドゥ／サルトル／ブランショ」

②研究者交流助成 3件

- ・日仏教育学会 フランソワ・ジルー (パリ教職大学院 (国立教員教育学院) 准教授) 招聘
- ・大鐘敦子研究グループ ベルトラン・マルシャル (旧パリ第4大学-ソルボンヌ大学名誉教授) 招聘
- ・増田一夫研究グループセルア・リュスト・ブルピナ (パリ・ディドロ大学連携研究員、パリ政治学院元教員) 招聘

(3) 日仏関連学会連絡協議会

日仏関連 27 学会との情報交換の会合を 2 回 (6 月・12 月) 開催。

(4) 日仏文化・学術・教育団体等との共同事業・施設貸与

日仏会館・フランス国立日本研究所、日仏関連諸学会、アンスティチュ・フランセ日本等日仏文化・学術・教育団体や、日独協会等国際交流団体との共同事業のほか、それら団体が主催するシンポジウム・講演会等事業のためホール、会議室、研究室等を提供。

4. その他事業

(1) 地方日仏協会との交流

定例の各地日仏協会との交流旅行の他、各地日仏協会との交流を推進する活動を積極的に行っていく。

(2) 親睦会

新年会等の他、創立百周年記念式典を予定。

5. 収益事業：公益目的事業に資する財源確保のため、会館内スペースの賃貸及び公益目的使用時間外の会館施設の貸与事業

店舗スペース賃貸並びに公益目的使用時間外のホール・会議室・ギャラリー、駐車場スペースの貸与。

6. 管理業務

(1) 2023 年度会議の開催 (予定)

- ・理事会 ①2023 年 5 月 31 日 (水)
②2023 年 11 月 1 日 (水)
③2024 年 2 月 21 日 (水)
- ・評議員会 ①2023 年 6 月 9 日 (金)
②2024 年 3 月 8 日 (金)
- ・常務役員会 (月例)
- ・委員会：学術・文化事業委員会 (月例)、総務委員会 (月例)、渋沢・クロード賞委員会

(2) 役員等名簿 (2023 年 2 月 1 日現在、敬称略、abc 順)

総裁 常陸宮殿下
名誉総裁 駐日フランス大使 Philippe SETTON
名誉理事長 福井憲彦、樋口陽一、松浦晃一郎
顧問 三浦信孝、柳井 準
理事長 中島厚志
副理事長 中地義和、渡辺真美
常務理事 川出良枝、河口淳子、三浦 篤、西 昭宏、澤田 直、山元 一

理事 林 玲子、林 洋子、平野千果子、中江剛介、大村敦志、大野博人、Christian POLAK、
杉山直人、塚本昌則、山本博幸、吉澤正浩
監事 五十嵐敬喜、野口真有美
評議員 飯村 豊、Muriel JOLIVET、金澤千鶴子、北島元治、北村一郎、古石篤子、
西川 恵、西村篤子、岡真理子、岡本和夫、塩川徹也、杉浦 勉、滝澤 正、
辻村みよ子、渡邊啓貴、横山悠喜、吉井篤志、吉岡智哉
諮問委員 Jean BARTHELEMY、Hubert De MESTIER Du BOURG、Laurent DUBOIS
稲畑勝太郎、磯村尚徳、北原 隆、Michel LACHAUSSÉE、Norbert LEURET、
小倉和夫、老川祥一、大井 孝、為永清嗣、Bernard THOMANN、梅本和義

以上